

# 木更津市こども計画策定に関するアンケート調査について

## 1. 調査の趣旨について

「木更津市こども計画」策定に当たり、計画策定の基礎資料として、木更津市在住の子ども・若者及びその保護者を対象にアンケート調査を実施しています。

令和7年度に実施する調査は全4種で各調査の概要は以下のとおりです。

なお、各調査の回収率については、集計作業が完了次第、お示しさせていただきます。

## 2. 各調査の概要について

### ■小学5年生・中学2年生調査

調査対象	調査数	抽出方法	調査期間	調査実施方法
市立学校に通う 小学5年生・中学2年生	2,354件 小学5年生：1,169件 中学2年生：1,185件	全数調査	令和7年5月29日 ～6月25日	【配布】学校配布 【回収】WEB

#### 【設問内容】

- 1 あなた自身について
  - ・回答者の基礎情報
- 2 ふだんの生活や健康について
  - ・暮らしの環境について
  - ・親との関わりについて
  - ・食事の回数や健康状態
  - ・子どもの家庭での役割など、ヤングケアラーに関する内容
- 3 ふだん考えていることについて
  - ・自己肯定や周囲との関係
- 4 ふだん過ごす場所について
  - ・放課後の過ごし方や居場所
- 5 困りごとの相談先について
  - ・困りごとの相談先や方法
- 6 子どもの権利条約について
  - ・4つの原則の認知度について

- ・ 4つの原則が守られている実感について
  - ・ こどもの権利が守られるための仕組みについて
- 7 木更津市のことについて
- ・ 市の情報の周知状況について
  - ・ 思ったことや意見の表明方法について
- 8 将来のことについて
- ・ 希望する進学先や進学理由
  - ・ 自身の将来や暮らしについて
- 9 自由記述
- ・ 市への要望について

#### 【設問の目的】

- ・ 子どもの生活状況についての設問を設定し、学習、食事、悩みごと、ヤングケアラーなどに課題がみられないか調査を行う。
- ・ 地域活動への参加頻度などを設定することで、地域とのつながりについて探り、子どもがどのような活動に興味を持つのかを調査する。
- ・ 「子どもの権利条約の4つの原則」について、どの程度認知されているかを調査する。
- ・ 子どもの持つ自由な発想や多種多様な要望は設問形式のみでは拾いきれないため、自由記述を設定して広く子どもの意見聴取を行う。

## ■小学5年生・中学2年生の保護者調査

調査対象	調査数	抽出方法	調査期間	調査実施方法
市立学校に通う小学5年生・ 中学2年生の保護者	2,354件 小学5年生：1,169件 中学2年生：1,185件	全数調査	令和7年5月29日 ～7月9日	【配布】学校配布 【回収】WEB

## 【設問内容】

- 1 あなた自身とお子さんについて
  - ・回答者の基礎情報
  - ・保護者の就労状況等について
- 2 暮らし向きについて
  - ・世帯の年間収入について
  - ・暮らし向きについて
- 3 家庭の健康状態について
  - ・保護者とお子さんの健康状態
  - ・病院や診療所を受信できなかった経験
- 4 ふだんのお子さんの生活について
  - ・食事の回数について
  - ・生活や学習習慣
  - ・ふだんの過ごし方
  - ・子どもの家庭での役割など、ヤングケアラーに関する内容
- 5 お子さんの居場所について
  - ・お子さんが放課後過ごす場所
- 6 学校や勉強について
  - ・希望する進学先や進学理由
  - ・市の情報の周知状況
  - ・思ったことや意見の表明方法
- 8 困りごとの相談先について
  - ・悩みや困りごとの相談先・相談方法
- 9 家庭の状況について
  - ・理想と現実のこどもの人数に

- 10 木更津市のことについて
  - ・市の情報の周知状況について
  - ・公的支援制度の利用状況及び改善希望
- 11 子どもの権利条約について
  - ・4つの原則の認知度について
- 12 自由記述
  - ・市への要望について

**【設問の目的】**

- ・保護者やお子さんの生活状況についての設問を設定し、学習、食事、悩みごと、ヤングケアラー、暮らし向きに課題がみられないか調査を行う。
- ・「子どもの権利条約の4つの原則」について、どの程度認知されているかを調査する。
- ・世帯の暮らし向きについての設問を設定することで、生活困窮世帯の調査・分析を行う。

## ■ひとり親家庭調査

調査対象	調査数	抽出方法	調査期間	調査実施方法
市内在住のお子さんがある ひとり親世帯の保護者	871 件	ひとり親家庭等 応援臨時特別給付金 の対象者	令和 7 年 5 月 1 3 日 ～ 6 月 6 日	【配布】 郵送配布 【回収】 WEB

## 【設問内容】

- 1 あなたの世帯などについて
  - ・ 回答者（保護者であるひとり親）の基礎情報
  - ・ ひとり親になった原因
  - ・ 養育費に関すること
  - ・ 就労に関すること
- 2 お子さんやお子さんとの生活について
  - ・ 食事や子どもと過ごす時間
  - ・ 子どもの進学
  - ・ 子どもの家庭での役割（ヤングケアラー）
- 3 生活の中での悩みや不安について
  - ・ 生活、お金、将来、子育て、子どもの発達に関する悩み
  - ・ 悩みの相談先
  - ・ 利用したい支援やサービス
- 4 自由記述
  - ・ 市への要望について

## 【設問の目的】

- ・ 多くの課題を抱えるひとり親家庭に対して、悩みや困りごとなど実態、ニーズの把握を行う調査となっている。
- ・ ひとり親家庭は子育てと生計の確保を一人で担っていることから、可能な限り設問を少なくし、回答も短時間で答えられるよう調査を設計している。

## ■若者調査

調査対象	調査数	抽出方法	調査期間	調査実施方法
市内在住の高校生世代から 39 歳	3,000 件	住民基本台帳より 無作為抽出	令和 7 年 7 月 1 6 日 ～ 8 月 8 日	【配布】 郵送配布 【回収】 WEB

## 【設問内容】

- 1 あなたのことについて
  - ・回答者の基礎情報
- 2 あなたの学歴、就業経験について
  - ・最終学歴と現在・過去の就業状況
  - ・社会的な躰きの経験について
- 3 あなたの普段の生活について
  - ・スマートフォン等の使用状況
  - ・外出状況
  - ・不登校、ひきこもり等の経験
- 4 周囲との関わりについて
  - ・地域活動への参加有無
  - ・参加していない理由
  - ・地域活動への参加を促すために有効であると思うもの
- 5 結婚への意識と子育てについて
  - ・結婚への意識
  - ・結婚に前向きではない理由
  - ・子どもをもちたいと思うか、子どもをもつことに前向きではない理由
  - ・子どもをもつことに対する支援で重要と思うもの
- 6 あなた自身の考えについて
  - ・幸福度、孤独感の有無
  - ・居場所について
  - ・将来への不安感、不安の具体的内容
  - ・悩みなどの相談先
  - ・木更津市は自分らしく過ごせるまちであると思うか
- 7 自由記述

- ・市への要望について

**【設問の目的】**

- ・回答率の低さが最も懸念される調査であるため、回答に抵抗が出やすいプライバシーにかかわる設問は設定せず、可能な限り設問数を少なくしている。
- ・結婚への意識や子どもをもつことへの意識、地域との関わり、居場所、悩みの相談先など、計画策定を行う上で重要となる設問を中心に若者世代の価値観、ニーズを調査する。